

## 水セクターの概要と都市上水の開発状況

## 1. 水セクターの概要

モザンビークの水セクターは、公共事業住宅省の National Directory of Water (DNA) が監督機関として計画・規制を行っており、その傘下の FIPAG、AIAS、ARA South/Central/North が各公共事業を実施している。都市上水事業の計画・実施・維持管理は、FIPAG (Fundo de Investimento e Patrimonio do Abastecimento de Agua) が担当しており、下水インフラについては、AIAS (Administracao de Infraestruturas de Abastecimento de Agua e Saneamento) が整備している。河川管理及びダム建設については、ARA (Administracao Regional de Aguas) が南部、中部、北部において、それぞれ事業を実施している。

モ国の「政府5か年計画（2015-2019）」において、水供給及び下水サービスの増加は戦略的目的の一つとして掲げられており、水供給サービスについては、以下の政令都市への供給が優先事項

として挙げられている。

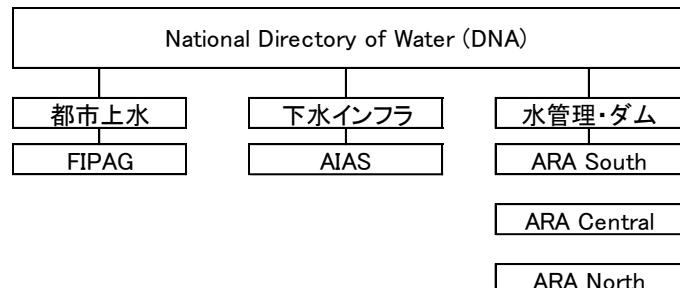


図1：モザンビークの水セクターの実施体制

表1：政府5か年計画における水供給サービスの優先都市と指定された政令都市

地域	水供給サービスにおける優先的な政令都市
南部	マプト首都圏、ガザ州の都市 (Chibuto, Massangena, Chigubo and Chicualacuala、イニヤンバネ州の都市 (Mabote, Jangamo, Homoine and Morrumbene
中部	ベイラ、マニカ州の都市 (Guro, Espungabera, Machaze) 、テテ州 (Nhamayabue, Ulongue and Figoe) 、ザンベジア州の都市 (Maganja da Costa, Alto Mococue, Milange) 、
北部	ナカラ、クワンバ、ナンプラ州の都市 (Mussoril) 、カーボデルガード州の都市 (Chiure, Mueda and Pemba)

都市上水インフラについては、FIPAG が実施機関としてインフラ整備を行っているが、市民への水供給については、PPP 方式が採用されており、南部、中部、北部の各地域において、Agua de Regiao de Maputo 等が水供給サービスを行っている。ナンプラ州では、Agua de Regiao de Nampula がナンプラ、ナカラ、クワンバ等のナンプラ州の都市水供給を提供しており、FIPAG とリース契約を結んでいる。これら水供給企業の株の大部分 (93%) は FIPAG が所有している。

## 2. 都市上水の開発状況

マプト首都圏等のいくつかの都市においては、水供給マスタープランが作成されている。また、政府 5 か年計画に基づいて、DNA は都市上水の 25 優先事業リストを作成している。さらに、上記を踏まえて、FIPAG は 15 の優先投資インフラリストを作成している。FIPAG の主な優先事業を表 2 に取り纏める。

表 2 FIPAG の主な優先都市上水事業

	City	Investment cost	Project beneficiary
1	Nacala	USD 27.1 million	275,000 persons Increase of capacity from 12,000m3/day to 34,000m3/day
2	Tete/Moatize	USD 41.9 million	Increase of capacity to 90,000m3/day
3	Beira/Dondo	USD 74.3 million	Increase of capacity to the demand up to 2020 (120,000m3/day) New connection of 265,000 households
4	Quelimane	USD 23.6 million	Increase of capacity from 13,200m3/day to 15,600m3/day
5	Nampula	USD 62.6 million	Additional increased capacity of 10,000m3/day New connection of 159,000 households
6	Pemba	USD 44.1 million	Increased capacity from 12,000m3/day to 34,000m3/day (2020 demand) 275,000 new connection
7	Lichinga	USD 57 million	275,000 new connection Increased capacity from 530m3/day to 20,500m3/day

マプト首都圏の上水事業については、世界銀行とオランダ政府からの資金援助によって整備が進められている。その他、EU、アフリカ開発銀行、フランス政府、KfW が上水整備への支援を行っている。

ナカラについては、アメリカの MCA によるナカラ・ダムのリハビリ事業と世界銀行による処理施設・配管整備によって水供給量は 25,000m3/日まで増大することが計画されていた。しかしながら、処理施設計画は持続性がないという評価結果が出たことから、ナカラ上水整備事業は頓挫しており、深刻な水不足の状態となっている。そのため、海水淡水化とダム建設による上水整備の両案が検討されている。海水淡水化については、残渣の塩分処理と電力が課題となっており、ダム建設案については、ダムからの距離と水資源が主な課題となっている。DNA 及び FIPAG とのインタビューでは、海水淡水化、ダム等の各計画を評価する調査が必要であるとの認識があった。ナカラに加えて、200 km 先のナンプラ市においても水不足の問題が発生している。FIPAG とのインタビューでは、表 2 のリストのうち、特に優先的な事業として、ナカラ、

ベイラ/ドンド、ナンプラ、リシンガが挙げられている。上水セクターの PPP 事業については、全ての事業において検討の余地があるとのことである。

以上